

問一 次の各問いに答えなさい。

- ①②④の——線部の読み方をひらがなで書きなさい。
⑤⑧の——線部のひらがなを漢字に直しなさい。必要に応じて送りがなも書くこと。

①荒天による中止 ②嫌疑を晴らす ③人工甘味料 ④気分が和らぐ

⑤花をつむ ⑥めずらしい名前 ⑦きょうどの歴史 ⑧本がいたむ

ア「容易」と反対の意味を持つ言葉を、次の中から一つ選び、漢字で答えなさい。

ぎむ ぐたい げんじつ こんなん ぶぶん

イ「飛」の漢字の太字部分は何画目に書きますか。算用数字で答えなさい。

ウ「病」の部首名をひらがなで書き、同じ部首を持つ漢字を一つ書きなさい。

問二 各問いに答えなさい。

ア 右の文章は、いくつの段落と文からできていますか。漢数字で答えなさい。

教室の窓を開けた。

風がさわやかで、雲がゆっくりと流れていた。

三郎くんが僕のところへきた。昨日、クッキーを作った話をしてくれた。おいしそ
うだった。今度、僕もやってみようかな。

イ 各文の文節の数を漢数字で答えなさい。

① 妹はかき氷を食べていた。

② この公園はそんなに広くない。

③ 一生懸命に勉強すれば成果が出る。

ウ 例にならって、次の各文に——を入れ、単語に分けなさい。

例) 私は一学校に——行く。

① 夏休みの課題は多い。

② 毎日八時から勉強をする。

③ 本を読むともっと深まる。

エ 次の【A】【B】に入る言葉を漢字で答えなさい。※【A】には同じ言葉が入る。

言葉の単位において、最大のものは【A】と談話である。【A】の例の一つに【B】がある。

問題は2ページに続きます。

問三 次の文章を読み、後の問いに答えなさい。

- 1 カムチャツカの若者が
- 2 きりんの夢を見ているとき
- 3 メキシコの娘は
- 4 朝もやの中でバスを待っている
- 5 ニューヨークの少女が
- 6 ほほえみながら寝がえりをうつとき
- 7 ローマの少年は
- 8 柱頭を染める朝陽にウインクする
- 9 この地球では
- 10 いつもどこかで朝がはじまっている
- 11 ぼくらは朝をリレーするのだ
- 12 経度から経度へと
- 13 そうしていわば交替で地球を守る
- 14 眠る前のひととき耳をすますと
- 15 どこか遠くで目覚時計のベルが鳴ってる
- 16 それはあなたの送った朝を
- 17 誰かがしっかりと受けとめた証拠なのだ

〔「朝のリレー」 谷川俊太郎〕

ア 1行目～8行目のうちで、「朝」に関する言葉を二つ、一単語ずつ、書きぬきなさい。

イ 11行目「朝をリレーする」ことで、「ぼくら」は、どんな役割をになっていると思われるか。詩の中から八字で書きぬきなさい。

ウ この詩に込められた思いとして、最も適切なものを、次から一つ選びなさい。

- 1 地球の人々はみな、毎日忙しく働いており、感謝すべきなのだ。
- 2 地球の人々はみな、事情が異なっており、他人のことをとやかく言ってはならない。
- 3 地球の人々はみな、どこかでつながっているのだ。
- 4 地球の人々はみな、生まれた場所を問わず、誰もが力強く人生を歩んでいるのだ。

問四 次の文章を読み、後の問いに答えなさい。

- | | | |
|-----------------|------|-----|
| あしたこそ | たんぽぽ | はるか |
| 1 ひかりを おでこに | | |
| 2 くつつけて | | |
| 3 はなひらく ひを | | |
| 4 ゆめにみて | | |
| 5 たんぽぽ（A）が | | |
| 6 まいあがります | | |
| 7 とんでいこう どこまでも | | |
| 8 あした | | |
| 9 たくさんの「こんにちは」に | | |
| 10 であうために | | |

〔「野原はうたう」 工藤直子〕

ア 話者の「たんぽぽはるか」さんは、あしたこそどうしたいと思っていますか。最も適切なものを一つ選びなさい。

- 1 知らないところで暮らしてみたい。
- 2 次の場所に無事にたどりつきたい。
- 3 だれよりも遠くへとんでいきたい。
- 4 多くの新しいだれかにであいたい。

イ 話者になったつもりでこの詩を音読するとき、特に力強く読むとよいと思われる行は、どれですか。一行で探して、その行の番号を答えなさい。

ウ（A）に入る言葉をひらがな三字で書きなさい。

問五 次の文章を読み、後の問いに答えなさい。

おれはかまきり かまきり りゅうじ

- 1 おう なつだぜ
- 2 おれは げんきだぜ
- 3 あまり ちかよるな
- 4 おれの ころも かまも
- 5 どきどきするほど
- 6 ひかつてるぜ
- 7 おう あついぜ
- 8 おれは がんばるぜ
- 9 もえる ひをあびて
- 10 かまを ふりかざす すがた
- 11 わくわくするほど
- 12 きまってるぜ

〔野原はうたう〕 工藤直子

ア 6 ひかつてるぜ とありますが、何が「ひかつて」いるのですか。詩の中から、七字で書き抜きなさい。

- イ この詩全体から、話者のどんな思いが感じられますか。次から一つ選び、答えなさい。
- 1 かまで、みんなを怖がらせたい気持ち。
 - 2 すてきな姿で周りを喜ばせたい気持ち。
 - 3 自信に満ち、がんばるぞと意気込む気持ち。
 - 4 暑いが、我慢して働くぞという気持ち。

ウ 話者の気持ちが高まっている程度（様子）を表す言葉を八字で、二つ書き抜きなさい。

問六 次の文章を読み、後の問いに答えなさい。

①「僕、あの小説が好きなんだ。」

「え？」

「あの、国語の小説。」

覚えていないかもしれない。急にこんなことを言うのは変だ。でも、そこから話をするしかなかった。僕は必死だった。だから、

「覚えているよ。」

シンタがそう言ってくれたときは驚いた。それから、こう続けたときも。

「僕が嫌いつて言ったとき、シュンタが傷ついたのもわかった。」

気づいていたんだ。謝ろうとした僕より先に、シンタが「ごめん。」と言った。

「僕たち、あれからちよつと②おかしいよな。ちよつとっていうより、だいぶ。」

「うん。なんか。」

「つまらないことばかり話してさ。」

「本当にそうだね。」

シンタと僕が久しぶりに話をしているのを、クラスメイトたちが見ているのがわかった。

でも、僕は気にしなかった。

「僕、シンタと違うところを発見するのが怖かったんだ。」

シンタも、気にしていなかった。

「僕も！」

ア a ①「僕、あの小説が好きなんだ」と言った「僕」とは誰ですか。書き抜きなさい。

b また、その人は、どんな様子で言いましたか。言ったときの様子がわかる一文を文中から書き抜きなさい。

イ ②「おかしい」と感じていた時、二人はどんな様子でしたか。本文中の言葉を使い、十五字以上二十字以内で答えなさい。

ウ ③「思ったより、大きな声が出た」のは、なぜだと考えられますか。次から一つ選び答えなさい。

- 1 クラスメイトたちに見られていることを意識して、緊張し、声に力が入ったから。
- 2 シュンタが自分と同じ気持ちだったことを知り、うれしさで気持ちが高ぶったから。
- 3 シュンタを傷つけたのを後悔して、話せて興奮したから。
- 4 シュンタが自分を許してくれていたとわかり、安心して気持ちがほぐれたから。

③ 思ったより、大きな声が出たのだろう。シンタは照れくさそうに笑った。

「またシンタを傷つけるのも怖かったしさ。」

シンタのその笑顔が、僕は好きだった。大好きだった。

「傷つかないよ。」

「え？」

「僕の好きなものをシンタが【A】でも、僕は傷つかないよ。あ、ううん、傷つくかもしれないけど、でも、じゃあ、だからこそ話そうよ。どうして好きなのか、どうして嫌いなのか。」

④ シンタはまっすぐ僕を見た。僕もシンタをまっすぐに見た。

〔シンシュン〕西 加奈子

問七 次の文章を読み、後の問いに答えなさい。

① この二つの器官は、じつは味も違っています。なぜ、違っているのでしょうか。

② 胚軸の部分は水分が多く、甘みがあるのが特徴です。胚軸は、地下の根で吸収した(A)を地上の葉などに送り、葉で作られた糖分などの(B)を根に送る役割をしているからです。

③ いっぽう、根の部分は辛いのが特徴です。①ダイコンは下にいくほど辛みが増していきます。ダイコンのいちばん上の部分と、いちばん下の部分を比較すると、下のほうが十倍も辛み成分が多いのです。ここには、植物の知恵ともいえる理由がかくされています。

④ 根には、葉で作られた栄養分が豊富に運ばれてきます。これは、いずれ花をさかせる時期に使う大切な栄養分なので、土の中の虫に食べられては困ります。そこで、虫の害から身を守るため、辛み成分をたくわえているのです。ダイコンの辛み成分は、普段は細胞の中にありますが、虫にかじられて細胞が破壊されると、化学反応を起こして、辛みを発揮するような仕組みになっています。そのため、たくさん細胞が壊れるほど辛みが増すことになります。

⑤ ②これらの特徴を活用して調理すると、ダイコンのさまざまな味を引き出すことができます。例えば、大根下ろしを作るときに、辛いのが好きな人は下の部分が向いていますし、辛いのが苦手な人は上の部分を使うと辛みの少ない大根下ろしを作ることができます。また、ダイコンを力強く直線的に下ろすと、細胞が破壊されて、より辛みが増します。逆に、円をえがくようにやさしく下ろせば、破壊される細胞が少なくなり、

エ ④「シンタはまっすぐ…見た。」という二人の様子から感じられることを次から一つ選びなさい。

1 決意の固さ 2 責任の重さ

3 意地の強さ 4 強い責任感

オ 【A】に入る言葉を二字で書きなさい。

ア ダイコンの白い部分はどこの器官ですか。器官名を二つ、漢字で書きなさい。

イ (A)(B)に入る言葉を次から選び、番号で答えなさい。

1 水分 2 糖分 3 栄養分

4 成分 5 葉分

ウ ①「ダイコンは下にいくほど辛みが増していきます。」とありますが、

(1) 下にいくほど辛みが増すのは、何のためですか。十五字以上二十字以内で答えなさい。

(2) ダイコンのこの仕組みを、筆者はどのように表現していますか。五字で書きぬきなさい。

エ ②「これらの特徴」がわかるのはどの段落ですか。次から一つ選びなさい。

1 ④段落 2 ②③段落

3 ②④段落 4 ①④段落

オ ⑥段落は、文中でどんな働きをしていますか。一つ選びなさい。

1 本題に関連する身近な話題を挙

辛みが抑えられるのです。

⑥ このように、ダイコンの白い部分は異なる器官から成っていて、器官の働きによって味も違うのです。普段何気なく食べているダイコンも、植物として観察してみると興味深い発見があります。他の野菜はどうでしょうか。いろいろと調べてみると、これまで気づかなかった野菜の新しい魅力が見えてくるかもしれません。

（「ダイコンは大きな根？ 稲垣栄洋」）

げ、導入する働き。

2 これまでの答えをまとめ、筆者の考えを示す働き。

3 問いの答えを詳しく説明し、主張を裏づける働き。

4 直前の段落の内容に対して、さらに疑問点をあげる働き。

カ 辛みの少ない大根下ろしを作るには、どの部分を使い、どのように下ろすとよいですか。二十五字以内で書きなさい。

問八 次の文章を読み、後の問いに答えなさい。

若い女性とおばあさんの
図（省略）

① 上の図の場合はどうであろうか。ちよつとすまして図の奥の方を向いた若い女性の絵と見る人もいれば、毛皮のコートに顎をうずめたおばあさんの絵と見る人もいるだろう。あるいは、他の絵と見る人もいるかもしれない。

② だれでも、ひと目見て A に、何かの絵と見ているはずだが、そうすると、B 別の絵と見ることは難しい。若い女性の絵だと思った人には、おばあさんの絵は簡単には見えてこない。おばあさんの絵と見るためには、とりあえず、今見えている若い女性の絵を意識して捨て去らなければならない。

化粧台の前に座っている女性の図（省略）

③ 上の図を見てみよう。化粧台の前に座っている女性の絵が見えるであろう。ところがこの図も、もう一つの絵をかくしもっている。目を遠ざけてみよう。すると、たちまちのうちに、この図はどくろをえがいた絵に変わってしまう。同じ図でも、近くから見ると遠くから見るかによって、全く違う絵として受け取られるのである。

④ このことは、なにも絵に限ったことではない。遠くから見れば秀麗な富士山も、近づくにつれて、岩石の露出した荒々しい姿に変わる。また、遠くから見ればきれいなビルも、近づいて見ると、ひび割れてすすけた壁面のビルだったりする。

⑤ 私たちは、ひと目見たときの印象に縛られ、一面のみを捉えて、その物の全てを知ったように思いがちである。しかし、一つの図でも風景でも、見方によって見えてくるものが違う。そこで、物を見るときには、ちよつと立ち止まって、他の見方を試してみてもどうだろうか。中心に見るものを変えたり、見るときの距離を変えたりすれば、その物の他の面に気づき、新しい発見の驚きや喜びを味わうことができるだろう。

（「ちよつと立ち止まって」 桑原茂夫）

ア A に入る適切な言葉を次から選びなさい。

- 1 即席 2 即座 3 即効 4 即答

イ B「別の絵と見ることは難しい。」とありますが、なぜ、別の絵とみることが難しいのか、理由を述べなさい。⑤ 段落中の言葉を使い、二十五字程度で書きなさい。

ウ ③、④ 段落では、何によって見方が変わることがわかりますか。⑤段落中より言葉を探して二字で書きなさい。

エ この文章中で述べられていることとして最も適切なものを次から一つ選びなさい。

1 ものを見るときは、全てを見ようとするのではなく、中心を押さえてから、別の面も見ようとするときよい。

2 ものの見え方は、人それぞれに違うので、自分の見方だけが正しいと思っはいけない。

3 ものの見え方は、どう見るのかによって変わってくるものだが、意識していれば、何事も間違わずに見えてくる。

4 ものを見るときは、一面だけを見るのではなく、見方を変えてみると、新しい発見につながる可能性もあるので、他の見方もしてみよう。

5 ものを見るときは、ちょっと立ち止まって、他の見方ができないか、常に確認し、周りとも共有すると、新たな喜びが生まれるだろう。

オ 本文で述べられた例だけでなく、同じ事実でも見方を変えると印象が変わることがあります。「待ち合わせまで30分」という事実があるとして、そのことを説明しなさい。解答欄にある書き出しに続けて、【条件】に合わせて、五十文字以内で書きなさい。

【条件】

- 1、段落はつけず、一まず目から書き始めること。
- 2、句読点も一字として数え、一まず分に数えること。
- 3、中学一年生に応じた漢字を使って書くこと。
- 4、です・ます調ではなく、である調（～だ・～た など）で書くこと。
- 5、「30」の数字を使う場合は、一まずに30と入れること。